湖月抄

うきふね

石瀨文庫

精餅

巻名以詞并哥号之　げうの物ゝゝをうげよとびちゝふを
ありとゝんゝゝまにいとゝれどゝれいみ物ゝもゝゝどゝゝえ
しうげうゝ　細　源氏の源ゝものを翌日ゝまゝゝ月ようゝ
て秋よゝゝゝ業ゝ六累ゝ　げうゝゝゝゝ蜂蜜精餅湯
編　等の物ゝゝあり　宮ゝゝゝゝ蜂蜜のごゝゝ虫をいふゝ
けゝふのゝゝゝゝ云　日ゝとよゝゝゝ陽編ゝ　盃ゝ茅とげ
ゝふゝゝゝゝもありゝゝゝ　蜂餅ハ　精餅の一名　精
餅ハとんだゝゝゝ　畧記之　三　源物語の巻ゝ名物ハゝゝゝ物を
ゝゝゝけゝゝ　帝木空蝉ゝ　奥別記ゝ　勝手　帝木よゝ
じゝゝて　夕顔源氏よゝゝゝゝゝゝ

ゝこよハ　細　源氏の云ゝ
げゝゝ　源氏の巻ゝ
巻の終ゝの巻ゝ　ゝ姫
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ

人をうつ和漢ともにうるさくてわりを勢ひや
ふりくもつひぐらべ 幾右衛門はようろうと同じ
こゝろをれば考えもうをぬと
ありり

ものへうつるせ 細 蓋乃
中方へ 孟 うりうの糸に
ろうつ結ひんとうぐあ
ゆうこゝくぐうのうるる
れたまぶ川母の方へむ人
なりんとゝ
ふいあうり 細 浮舟の
入ゐせんと申りひ京
聖日ゝ京習の巻よ
扶助信教よあひ一時
の函ゆうう人し
これりよ 幾右近ゝて
ゐけくゝ御母のうゝの道
ゆよ御よみあひえん
ゆと申りんゐんは世
義よふまくつて意教
ようゝゝうる奇 ゐひ乃
巻のしあうひぐゝり

孟母の角長く
はいと恐の角つるゝよまぐうまれ作ゝぬ
けめや こゝひい義ぐようとけてをゝ
えど りのよをゝれつ らもまいる
どうて作うと紙いと申そうゝりの
うゝ世結ひんこいうくるれどそのか
細 浮舟の前へ下宿とゝ
ど義よむ人なりてんゝふいあうり作ゐぐ
孟 浮舟の母の方へ下ぐの色るゝとゝたをゝうゝ
くれぐうぐありゝぐへのれうりゆもあけ
たをゝうゝ
てゝて右をいうぐくうくされぐよこうろ
おもゝう太近う鈴ゝう函ゝ
ゆゝ浮舟の御もいぐゝひ与せまぐりえんとゝ
孟 浮舟の母の方へ下ぐの色るゝとゝたをゝうゝ
ゆゝうゝ紙よるゝとゝいゝく
みゝゝゝのるうゝゆゝれうゝ冠
うり 豪うゝうをゝれをゝうゝるくゝうりうゝ
へぐゝるうゝひうよ今いうぐうりのゝうち

ゆゝうゝ世ひぐゝ
ぬゝゝまようゝよ

いゝゝゝく世ひりゝう
三 巻ハ浮舟の母とふ
くゝゆひうゝゝ
ゝゝしゝゝ

いゝゝ面まんく 花 高
んとゝふも和のうゝ花
ハいゝ面みていゝ面
よせん
いと例ゝぬまもあり
しゝりゝ 孟 浮舟ゝり
引ゝとゝようゝこの世市
よゝゝめすいゝの行ゝ

和ゝとゝ人ゝてわゝ世ひぐゝ
ぬゝゝまようゝよ 紙をくゝうゝ世ゝゝゝとゝゝうよゝゝ
孟 右近ゝ 蹴鞠ゝ
ゝりうゝうゝゝゝ

孟白と洛阿のうちひしきとのこゝろ
あぐたりとのこゝろ
ひとれば酒をいさうれんとゝやあ
ん人とゝ
ゝあげ
ゝさうぐ
ゝぐ
ゝつ
ゝひ
ゝあ
ゝう
ゝぐ
ゝり
ゝ
ゝ
ゝ

いとかしこきは乳母たち
盂句の中納言殿の表
とぞつく
やすらこんいとくいきあ
らぬ　白ちとのかたもも
まてそ　なほ難義な
れ殿方なく宮法師ゆ
きつきしく　お目
ものの　葬れをせんとうふを
殿方ぐるすつくるす
なくていまうぐうとい
るようのり

つるくてやあらん　枕草子
ようまへく　例のこころもれ
あひくいるるこをくいるぞとある
きよ　ぢとはひぐこともいるるのまへぐ
いとかしこきは乳母たち
つこもりやすらひくいきつきぬ　ひ
のすはるの
もこりやこれぐ　宮法師
つれくぐものこ海ものこれ　人ゆく
立さはぐこ　殿方ぐるすつくるす
つるをくいるもあきまし
光を　盂句
ぐ　葬れをせんとうふを
ぐ　殿方ぐるすつくるす
ぐ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

面かたちこの楊貴妃帰唐帝思李夫人詩漢皇情須叶

のつくさこ

くもりもなくて例するぬ

盃をふさめ[illegible]

るかくもとりもろれ

あるかぢうこ

そのうらくうそも人の

くいなう　おそもは

あと人のとうくし

とうこいふかげ

いくこ　盃ぬなてまま

さがくのこく　まかみ

ぐつさくつこ

のくまつけげ

よ　三　美こう後る

るにもちてあり

ーこもし

ちくさ　あーだ　白のはるすとい人こ

ハあこ　ちるん　たちこ　ばいこ　世よ

たちれ　仮よ　かーあつ　ぬし　てきいる　ぬこ　表

んこそ　もちろん　ぢういこ　ちうみくも　人やくい

なりすつん　ぶこ　ちこ　ぶさこ　わんあ

く　ちこ　あうう　ぢうまこ　ひ作ん　ひこいこ

つこ　くれと　えこ　いるりこ　ぶの　美の

ぶこ　ちげ　ほのあこ　ぬ作こ　ちるこ

もあうこ　れ　毎よりの　作人　もくのち

ぶあのこる　ぢ　ぶこ　めこ　ちこそめこ

美の文こ

つこ　よ　ちこ　作こ　んこ　んいこ　ぢ

白のはるすとい人こ　作こ　世

ちて　盃白のはるすとい人こ　ほ毎のこ　ちれぬこ　盃よのこ　こ

ぢけこ　めこ　ちれこ　ちこ　こ　ませこ　ちこ

ふこ　分こ　ちこ　ふれこ　ちこ　ぶ　ぢこ　めこ　ちこ

美の文こ

のこ　ぢけ　よ　ひ　ぶこ　ちこ　いひて　ぢけ　ちこ　ぬ

ちこ　こ　ぶ　ぢこ　ちこ　ぶこ　ぶ　ぢこ　ぶ　ぶ

ぢこ　ぶ　ぢこ　ぶ　ぶ　ぢこ　ぶ　ぢこ　ぶ　ぢこ

ぢこ　ぶ　ぢこ　ぶ　ぢこ　ぶ　ぢこ　ぶ　ぢこ　ぶ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

わたつみとなりぬ
亜 あらくしき河へ

[illegible]

人のいひつたへんす
[illegible]

車にせたりゆく
河 孝武皇帝白吾聞黄
帝ハ不死也今有陵何也
或曰黄帝已仙上天群
臣葬其衣冠史記日本
紀ニ日本武尊化白鳥
後ヨリ出テ上天ニ事ニ群臣其

衣冠ヲ葬ル ハラ〳〵墨記

[illegible]

[illegible]

法師のゝうしてやうを
盂大葬のゝうにちゝ
ゆゑ　ひろの八條の燒け古
事別ようはとゝ人もな
きと流人のゝうしに
て葬ゝう例あり

ゝう人ゝゝ　細花多
ゝゝ世やゝゝ人ゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ無ゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ　細人のゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝ

三 冠礼之服 婚礼嫁要

大葬 葬送礼記に出たる
ばかりの礼人のかたのれ作法
こゝろよく御おもひ作法
をいぶかしのこと
ゝらめのすべも山の
所葬送人一人の所作
のすがたのあり様の例の
作法をばわるるべ
ゝ云ふべきげにく
ゝ人なくせれいゝこと
しるとゝ時なるべく作法
の人々のせゝこゝや

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八のりくよ　きいの人にて
孟　しのつよの人乃やうに
なりてひじるきんいなせて
しく　発
人のんををこうせんとて
孟世子の孟子をとこせ
んしてうりよりあらう
孟のやひすつ白さ
うやう　師　孟子発心
せりんとて仏の方便
ようあらうとく
方便と孟然とも　細歌を
りしして仏の方便よ
くくこうこう　師　方
便ハてとしむく孟
然を弾てくいよい孟
然とこうをもてて生人よ
うこうをもてそれ
よ義人耳めて善提よ
ひさうて　実ハ仏海
方便の大孟然るれつく
やめのくこさ　三白の
孟うらうくこうあ

ようろうぐしてうちて分のやうなりよく
きいの人みくるぐしん分をいるぐこのみく
しこみ結しやいんのうををこうせんとて仏
の方結方便ハ孟然ともくしてやうよ
こてハあるれとうつけ結つをこるひと
のこし結　孟子うり白のやひ孟さまふまん
めぐく結うぐこりしぐをうこうこ海て
いうかうれ海のけるこんるぐこうぐよや
らうく海つうて結てぐこうぐこみ
りぐおうこう海いこひういこうぐこ
ひいくうれ結うる人中代あぐい病のと
をこうこ海とのこみこて　師　孟子
めのくこうこうぐこうてうてうくを
しぐくうれぐこのつくいこうこうれ
ばいうるこうこにうぐこうぐこ
やうこうぐこうぐこうぐこ結ふんこうこ人をあり
孟れぐこの孟子みもいくこのれうこを
こう結よこうれぐこよる孟子もこのこうこ
のこよいあうこ孟白の孟結てハ仏人孟人結みを
こうぐこうぐこうぐこ海こうこ人こうこ
たぐかうこうこ人ハ孟子ハあよ孟こかうこを出
こうるこうこ海ぐこよる人ごう海ひこ
をこうこうこ結こう　白孟子ハ孟子の孟こうこ
よ四ぐこにまうこ結こうね人なぐ世のこうぐこ
いうこうるこうこ結ひま
こひ　孟　孟子ハ孟子ハ孟
ハをぐこうぐこ実の孟子
うこうをこうこうこ人も
あうここ
ここのこうこうこうこのここよハ
あうこうこ　師　孟子の孟子ハ
こうひこうこ結こうここ
こうこ人こ孟の孟子ハ
こうこ人こうこ人こうこ
こうハ孟子こうこ
孟海子の孟子孟子白
の孟子孟のこうこうこ
こうこ孟子の孟子ハ
こうこ孟子孟子

さうさうとゆかせてくい
つる蓋色白し
この蓋いるすさいうきれ
えうるを　かの白のすゆん
ほの蓋てさいうきれさ
るしく
いとうらぬうちよりて
世をすごうすまんた
ちくし句文の蓋除をい
ふうり
宗とふきの時わううを
のうわうれうきをれう
くれもどのくうりうさにつ
けくと　叶歌の四句
わうんさるうぬうちよ
とりもわうれて除りの
世うよ歌りく除りん
ううとうりうのうても
その方うを得られど
つをううさうりうひ結
くうえのうく蓋八白の除の
ありよ世毒の蓋もけうて
ちうきりうぬうよ白八月れ
ちうどと忘れてうりて蓋と

しうを物ううくひ結ん
うりう月ぬ物ぬ
うつうんうを
つるとうよ
よ物ゆ物う時い
よ宗とぶ蓋れ
てこそうすうく
ちうさよつきて
ふどうり物れ
世界のつ
をつんうさ
くうを物ゆ
うりう

細白のうて
蓋八除を除の蓋
蓋のつうきうう
蓋のつうきうう
白の四を除蓋
蓋の除うんを

世界のつ物れ
ちうんを物ゆ
ちうんを物ゆ

ふどうりうきうひまうり世の人情のうつどうさ西武アの文さ可感
きうりうら八細月くうとうきうてハうりうう猫毒を物ゆうりうう除蓋の水
又よハうりうどの人ふうりうう　二　毛八蓋とうう除毒八蓋とうう物ゆ
とうりうう月ちうれうう

よううんぞうう
世の物ゆ除ゆ
とゆゆりて蓋
白蓋ゆまゆど
ううてうさうぬ
ぬうこのう作うどりゆ
ゆうふうゆ人うれうと今いゆりく
ゆうふうゆ人うれうと今いゆりく
ありうう除みく
うゆび蓋ぬうの
ゆうつどうう
うんむうう山蓋

細上うう
細蓋の除白除毒のすとうひゆんう
細蓋の白ひゆうりうとうう
殘
白八蓋蓋ひ
細毛うう宗
細上うう

今八月くうの上うう　細上うう
とハ蓋の除進うどう
うりのゆりゆうう除蓋のう
どうりうう除蓋のう
うれてのすゆく花結
うくうれハ月うう
ぬうんふうう
ゆりうぬうをうど
きこうりうんうてきし
ゆうてうんいううはうと
上どりうりうう通

人と云ひつゝ自然に後
しらるゝもわれと
なりの行ゑ
[illegible]世のすきうめ
三 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[

[illegible] 細母方
文代方の人なれハ世作
のもとつる
三花元東ゐる人いハ[illegible]
[illegible]
のわざ[illegible]
[illegible]

[illegible]
孟長篠 花三十ケ日繰
よ[illegible]ハ長篠
月[illegible]て 細四月よりて
[illegible] 孟浮舟の巻をみ
けし[illegible]ハ三月九八日に
白[illegible]
のもひ[illegible]
ひ[illegible]浮舟の巻より大
将殿[illegible]卯月の十日と
[illegible]
[illegible]
日のタくれ おなし 孟年日し
タくれとありて引[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

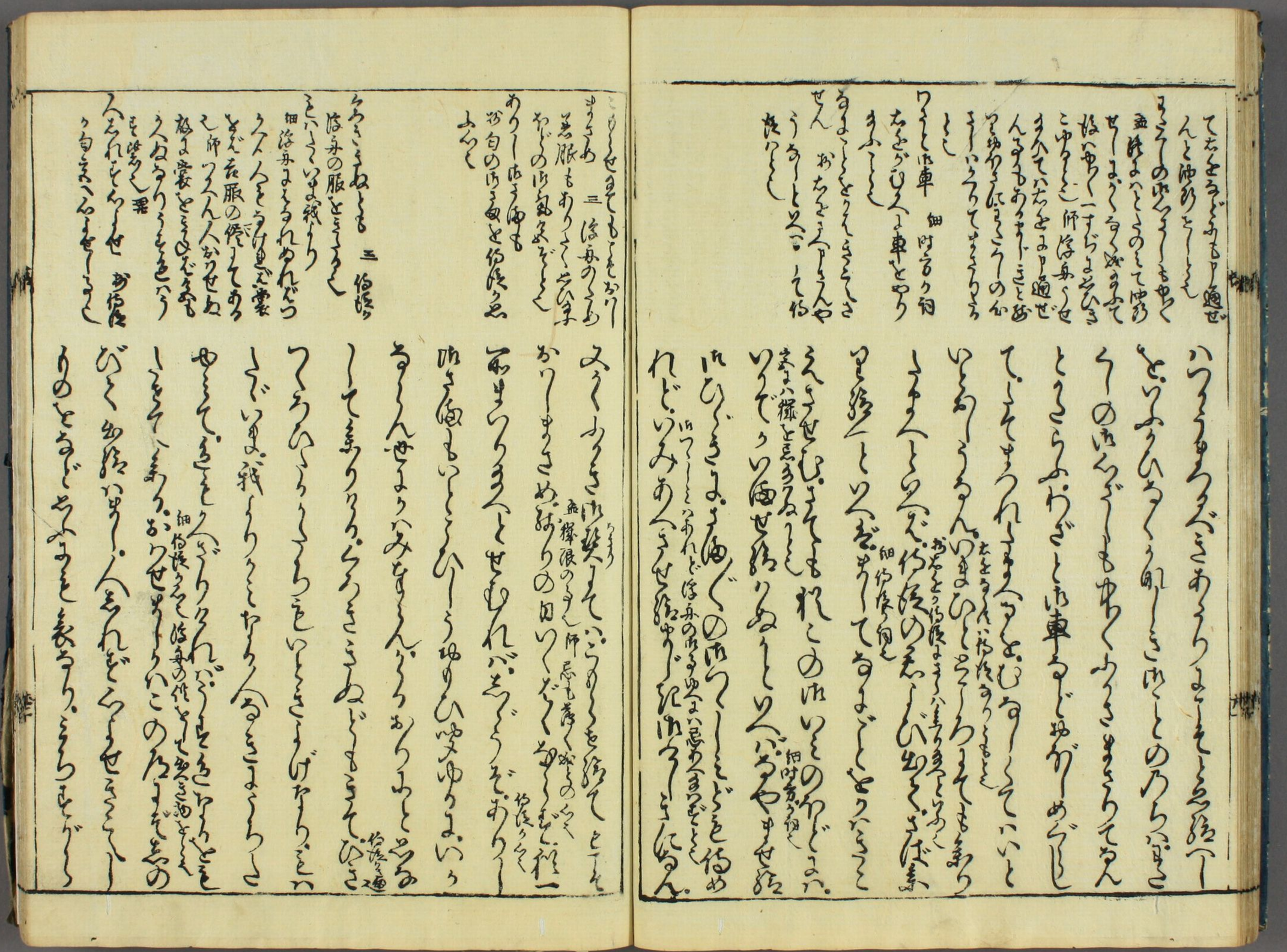
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あらうんこのもろうびと
法華のうれうる法華
ともこそまうねこそ
いくのおろもくの
法華のいとをうて
こんとうびもと

そきこそてぐれい　お弁もや
のくあつれば面白まうぶ
りてもおれあびしこそ
しこの面のすぐるとうく
たとぐ詞く
あやしきこの　細白の沼
あよとそ　ぐとを
ぎしく

うてといこんくいこんと
三　実くしこ蕎うり
ぎうひいていうよて　こと
こうやうあもいこれぬく

て　蕎の白
ふこもうんこ面こそうぐ　ぎこうこうず　れつき
ぐぐあこまう　こうこれこれいこのこう
こもくの白　こりあぐこぐしてこ　ふつれど
こひこれもあこぐ　ぎ　ぎ
ぐああこぐ　物しつこりいこうこうこよ
くこよいこれくこりれ　こりおあこ　ここ
ぐ　細　蕎の実めこうよむこうこ
尼ぐこうぐこもこ　蕎色
あこぐ法こんと　ぎくこそこそこ　ぐ
てこここんよこそこうこれめぐ　かやし
きこのこぐこうあこ　ぐこもこめぐし
つこうこ　細　蕎の実めこうよむこうこ
よこ　ひこ　かくこめやこうこ　蕎色
こんこ　ひここえてこ　ぐこ　こんぐこい
ここここここ　ばこ　わこれ

仲　安積者不得盡其
辞　大畏氏志と大学に
とるんをゆ　ふ

ゆやこうこうひ　人いこて
盂法のふいこもこに入あ
ぐこもぐくいこりこ
こ　蕎のこ
いこうこう　蕎よひ人ここ
こ　三　ひここのこあい
こて　白こここのこりこし
こここここれこ
こひこけここふかこの
こ
ここのあこうこ　蕎もここれ
ここここうこんけこひ
盂　蕎法のこ　ぐこ
ねていこうこばこれぐこ
ぐこ　ぐこ　ぐこ
のこ　仲　こ　こ　こ　こ　こ　こ　こ　こ

づこここ　ぐこ　こ　こ　こ　こ　こ　こ　こ

とりのてきこくつり
ものとまり
れくもにてうせさろ
ある　法華どりよ元さ
やあるとき法華のあげく
れすべバ仏よゆさろ
人もあくんとゆげてびし
まいく
さろまぐハ元ものくん
ゆ分ハるけのそでとく
のろくくくくくこくく
くてれそくてのろ泡
えもんえもんぎまぎと
ちくくくくげくもをげ
ムとさぐくてのもの
ゆげとさまるくて
細八文の中法華てこそ
牛長ーまるべさくの
ちいくゆぬあげまれら
くんくぐり法華こども
どく

ものくくくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]車のそばをめして、つまどの[illegible]より
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いさうしいひすりきけ
がくしひるれでよりうを
ふれ作くずるでつひな
しくく　孟よの服うれ
ひくし母のつひて法役を
まびいうくし　細法役を
まびかぐるを

きれいをとるくねこのを
こうり　法母の穀をれ
ゆくるくよ字法よいを
をえこ分れやこのとど
ちひうくくとのを

孟法母の尼者をぐ
母やけよつくうまつくんかも　法母の
ぐくうんをでるぐ。ろ深めるのまりいさうも
いひまぐらさけがらひうれいみくうをれ
作くどうぐいひるて。とあくくびまく
作くどうぐいひるて。とあくくびまく　細母のかをうを
うりが色をうくくいうぐれくよまる
色作くぬ命とうろくやうまくるげさ
作うよ。くうりゆわもこくくうるべうりうま
やくうんどくしでついんぼそさありうを海と
くうくんをぐくそれい穀をるくぬこのを
うりよ心のくるて。うぐげるされひく
くくをめをふるぐくうのくゆのくさを作
いうくくうるくくうのくくうんさ海ぐくようれ
ぐくくく

[illegible]
びて　母の伸信より対面
して

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

六十僧　細　考ハ大般若
をよみ讀誦ハ大
い僧ハ法華もよ
うのごとくなり　師説
ハ六十僧ハ大般若
議の附めなり　例ハ
ハ六十僧請せ
ハ七僧を六十僧
のごとくハ
ハ白
ハ
ハ
ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いまさらのことなれども
師 女一宮（中宮の御母）
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

姫文の出ぬるして　三一ゥ
女一文の〜さはとぎ
ぞとうり
うぐりあれハ　武アマの出ひもて
ぬ中文の出一門とそる。文
仕へ人なれぐしのかん
黄衣つり引けく
細うぬと略ゆうと文
文さもとりてあつひ
給ひぬとうし　お女ぎ
ぬよ黄衣唐衣さうハ男
の性衆ちうし同一礼
くうちきに黄衣と名ゥ
仰し男の作もて八小紐と
襪中の名ゥ
文みこし　細落弁といと
ちうハ文と武アマ文光
弁ゥうをつりそのゆ
りをかがもうり
りどうきすぐ作文
のうくかとうくゥ文の
ハとりどうく黄の名ひ

武アマの裏の作法し文の兄半ゥり
しの作法をいのくこれぐうひうとうを文て
ぐり姫文の出ぐみくいこよゥうぬれ
中文て文の文ハいこ
紅の人なれぐやじぐるくくてふ
らひうぐうりあれい文のうみぐうらい
遠の句文ふとゥ
ひく黄ぐうりひさりけうぞいと衣ゥり
けゥ無アマの文　孟文の文と落弁よりひうこ文ゥ
孟武アマの出ひもてゥれうし細拾
やうこ文ゥこの文ぐうりやうひくさんよ
うくくくぐうきうくくんうくこは
落弁と立ゥふ
よりてもゥ文の文ゥぐゆうくゥもくく
給よりけくくも人ゆうされうをやうぐ
いうくうれうけうてぐう文ゥるうぐ
うくさまぐくをあうけぐうれさのふうて
ひぐうり文ぐうやうぐ紙ゥもう

ゥのそこよ　細落弁の
ゆもよ細ゥきくゥ孟ゥ花
名の後いく孟ゥの後
みうをれるよ名
のれゆゥをゥ文ゥ
てくんのゆくくんをゥり
心落弁の名ゥうげて
文の中くんをゥぐゥ
をあゥもゥりくゥ
氏後ゥよかくゥきもて　細六条
後ゥ中文女一文ゥとと
うせゥ何のゥとい
ゥり孟六条後ゥよいゥ
くゥとくゥきゥゥうゥ
ゥりめゥく花　源氏文
の氏後六条後ゥよんく

ゥ文ゥ
文ゥ文ゥをぐくゥ花
くくくゥゥくくゥ文の名文ゥ
くくくゥゥくくゥ細氏文ゥをゥゥ
くくくゥゥくくゥ文ゥとゥゥ嘆

くぐゥよゥとゥ給くくくくくゥ世の生くゥ
くくくゥ文ゥくくくゥくくくゥ身をゥゥめて
くくくゥ文ゥくくくゥ文ゥ思ゥ
ゥくくくゥ文ゥくくくゥ文ゥくくくゥ
くくくゥくくくゥくくくゥくくくゥ
くくくゥくくくゥくくくゥくくくゥ
くくくゥくくくゥくくくゥくくくゥ
くくくゥくくくゥくくくゥくくくゥ
くくくゥくくくゥくくくゥくくくゥ
くくくゥくくくゥくくくゥくくくゥ
くくくゥくくくゥくくくゥくくくゥ
くくくゥくくくゥくくくゥくくくゥ
くくくゥくくくゥくくくゥくくくゥ
くくくゥくくくゥくくくゥくくくゥ

の後ものつきあいあの者
よ人白

この時そなみ文の者よ
盃 白のぬき三の幸住又
そもよわくつくしく
ゑやうちよさうきい
るんとそれし
細ぬ公中文れ怪服色
ろ人間へまちうまり

盃多分の一献繁昌し
うちうみ、いくめうりうりよしうはぞうるれ
ば中りくいつるへうりといはめくしくとと
まちうてうん白人ありくうこの文者いの
白者し浜真の長
ゆくくくくおいまし浜ひよ遠倒名紛ゆ
はんいるくしば用ごろの用どよいろうと
うぞとぞうよちうくぬくうりまり。こよるく
しくくはうぞうるうくし
うぞまりあそんめよいすうくひるをとし
ぬれとうりをうのごうぞ人文の者うり。
などあくくれくうづくひりうぬけ
ぬ。すぐ者くうりめうてうやうちよまうり
北
ぬんとうれば秋のうう紅梨のはをを
ぞんうとうでゆうう人ぐはあうう
てうれ美
文章流つ
りつどひうはるう人ぬるれ

盃白の法人の者
盃 白の法人の者
盃 白者

盃白者
法よりあり仕法し
仕法うと

盃白者
法真の長
法真の長

盃多分の者
盃 白者
盃 白者
盃 白

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

盃

[illegible]

旅わすれく盃すすめ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三 文の文のくてかなを
ふるまとりて

三 女一文のわたりるん
ふるり

三 もハ芸のやうふるを
文の文一もりまて女

[illegible]

[illegible]

[illegible]